

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsレポート_2025



2025/7/24



目次

2024年度の活動報告 P2

2024年度の活動内容 P3~7

目標に対する進捗状況 P8~10

2024年度活動したオフィサーからのコメント . . . P11

2025年度の活動について P12



2024年度の活動報告 (Summary)

- ・“環境 (E) ”、“社内 (S) ”、“ガバナンス (G) ”の目標に対し、2チームに分かれ、各々のチームがESGに対して活動を実施。

《継続活動》

- ・エコキャップ活動（埼玉工場主導で全社で実施）
- ・ニチバン巻心ECOプロジェクト（埼玉工場主体）
- ・寄付型自販機の導入
- ・地域のクリーン活動への参加



目標



3側面	活動テーマ (重点的な取り組み)	目標値 (指標)
E (環境)	CO ₂ 削減	2022年度時点 (総CO ₂ 排出量 : 888,280kg) 2025年度 : ▲3% 2030年末 : ▲5%
S (社会)	社会貢献活動	クリーン活動や外部ボランティア活動に参加 2025年度 : 35回/年 (延べ1,000人参加) 2030年末 : 40回/年 (延べ2,900人参加)
G (ガバナンス)	有給休暇取得率UP	有休付与日数に対する取得率50%以上の割合 2022年度時点 : 全社員の74% 2025年度 : 80% 2030年末 : 90%





2024年度活動内容

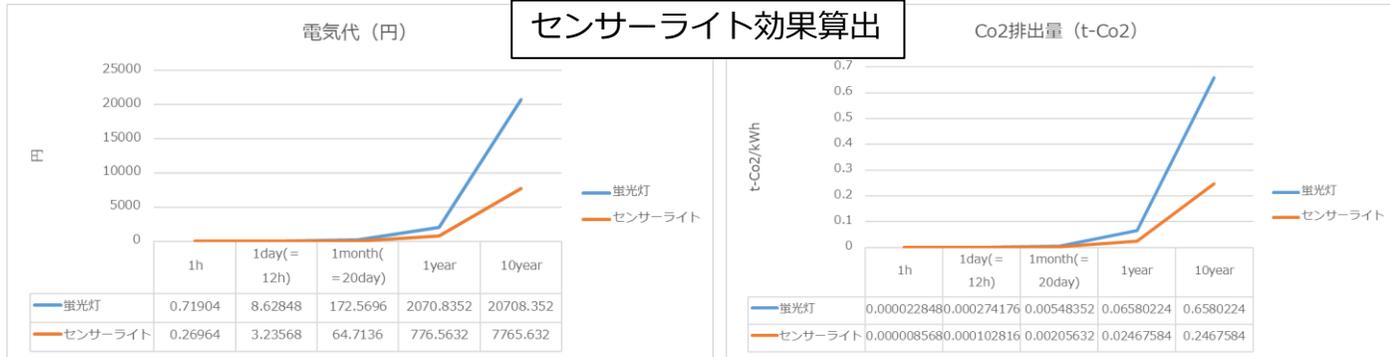


活動テーマ		活動内容	
E (環境)	CO ₂ 削減	電気使用量の削減	センサーライト設置効果算出
		廃プラスチック削減	紙製クリアファイルの導入
		啓蒙活動	リーフレットの配信 (3回)

紙製クリアファイルの導入

紙製クリアファイルの導入により、プラスチックの削減に貢献します。

SANKO SANGYO CO.,LTD.



CO2削減活動のご協力をお願いします。

脱ペットボトルWithマイボトル!

【メリット】

ペットボトルを1本を飲み残しリサイクルした場合すべて、半割されたCO2が人達へ減らすことができです。

毎日150本のペットボトルを会社に持ってきている人の場合1ヶ月で3,000円 年間36,000円の節約になります

自分にあったマイボトルを見つけ CO2を減らすための一歩を踏み出してみませんか!

FY2024 Bチーム

CO2削減活動のご協力をお願いします。

身体にも環境にも優しい自転車通勤をしてみませんか?

自転車通勤は環境に優しい!

遠近な通勤で健康でリフレッシュ! ストレス発散にもなる!

1km移動する際のCO2排出量が車は147gに対して、自転車は約1/10で削減が出来ます!

急ぎの交通手段なら車よりも早い場合がある!

自転車通勤で通勤距離が短縮され、燃費が省け、CO2削減にもなります!

500mから5kmの距離においては他の公共交通手段よりも早いというメリットも!

ペダルを踏むことでCO2削減が期待でき、燃費も省けます!

FY2024 Bチーム

CO2削減活動のご協力をお願いします。

目指せ3R活動!

Reduce (削減) リデュース(発生抑制) 使う資源やゴミの量を減らすこと 社内でマイボトルを使用しましょう!

Reuse (再利用) リユース(再利用) 物を繰り返し使うこと 再利用できる物は直ぐに捨てず再利用!

Recycle (再資源) リサイクル(再資源) 使い終わった物を資源として再び利用すること ゴミの分別を徹底しましょう!

FY2024 Bチーム



2024年度活動内容



	活動テーマ	活動内容
S (社会)	社会貢献活動	ボランティア活動
		献血活動への参加啓蒙・推進 →4人参加 (2024年9月～2025年3月)
		古本寄付 →149冊寄付 (寄付額: 3413円)
		文房具寄付 →21名参加 (寄付点数: 417点/ワクチン募金: 2名分)
		ビニール傘リサイクル活動 →14名参加 (寄付本数: 17本、寄付額: 1190円)
	絵手紙寄付 →21名参加 (寄付枚数: 50枚)	
	チャリティーラン参加 →9名参加 (寄付額: 700円)	



担当スタッフからのメッセージ
お写真の集積箱を郵便で取り送らせて頂きました。
お預かりの品物は、国内外でのリユース活動を始めています。
私たちの活動にご協力いただきまして、本当にありがとうございます。
今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

QRコード

※ 社員の数値をHPで公開しませんか？





継続活動状況（24年度実績）



活動内容

ボランティア活動	地域クリーン活動参加／自主清掃活動の実施 本社 : 10回 (参加者累計 : 42名) 大阪 : 2回 (参加者累計 : 17名) 埼玉 : 12回 (参加者累計 : 113名) 長野 : 11回 (参加者累計 : 81名) 名古屋 : 8回 (参加者累計 : 64名)
寄付型自販機の設置・運用	→導入対応中 (25年度に導入予定)
巻芯ECOプロジェクト参加	→ニチバン様より、感謝状を頂きました。(2025年2月) ※おおよそ45ℓ袋10袋分をリサイクルへ
エコキャップ収集	→45.24kg@19,453個 (ワクチン寄付 : 22.6人分)



ボランティア(クリーン)活動

キャップ実績レポート

三光産業株式会社 埼玉工場 様

このたびは「キャップの貯金箱推進ネットワーク」の活動にご協力頂きましてありがとうございます。皆様のご協力が、環境の恵がいかに感謝申し上げます。

品名	数量(総数)	換算寄付金
45.24 Kg	19,453 個	452 円
ワクチン種類	一人分の換算	合計
ポリオ (小児麻疹)	約 20 人	約 22.6 人分

※1kg→約430個=約¥110の計算になります。
 上記の換算は目安のため、キャップを印刷した際の文字サイズや重量等により変動することがあります。
 また、ワクチンはポリオ用紙にCO2 (約47)・はしか (495)・麻疹 (約114)・DPT (約9) 等と、あり
 ます。
 ※寄付金額 (換算×10円) は一律お振込みしたあと、後日「お礼のまもも」ワクチン(日本赤十字社)様にお送り
 いたします。

CO2換算	142.51 kg	の削減に繋がりました。
※CO2換算方法は、キャップ1kg (約430個) をごみとして焼却するとCO2が3150g発生しますので、重量(kg)×3150gで計算しています。		

■これまでの合計
 総重量 382.62 Kg

■頂いたお礼状からのお礼
 皆さまのおかげで楽しくお仕事をしています。
 ありがとうございます。

柏の葉 (立川市)
 天満倉 (国立市)
 こたろ (葛飾区)
 おおやま (葛飾区)
 /バイオ (奥久保車庫)

今後とも「キャップの貯金箱」運動にご協力をいただけますようよろしく
 お願いいたします。

エコキャップ収集



巻芯ECOプロジェクト



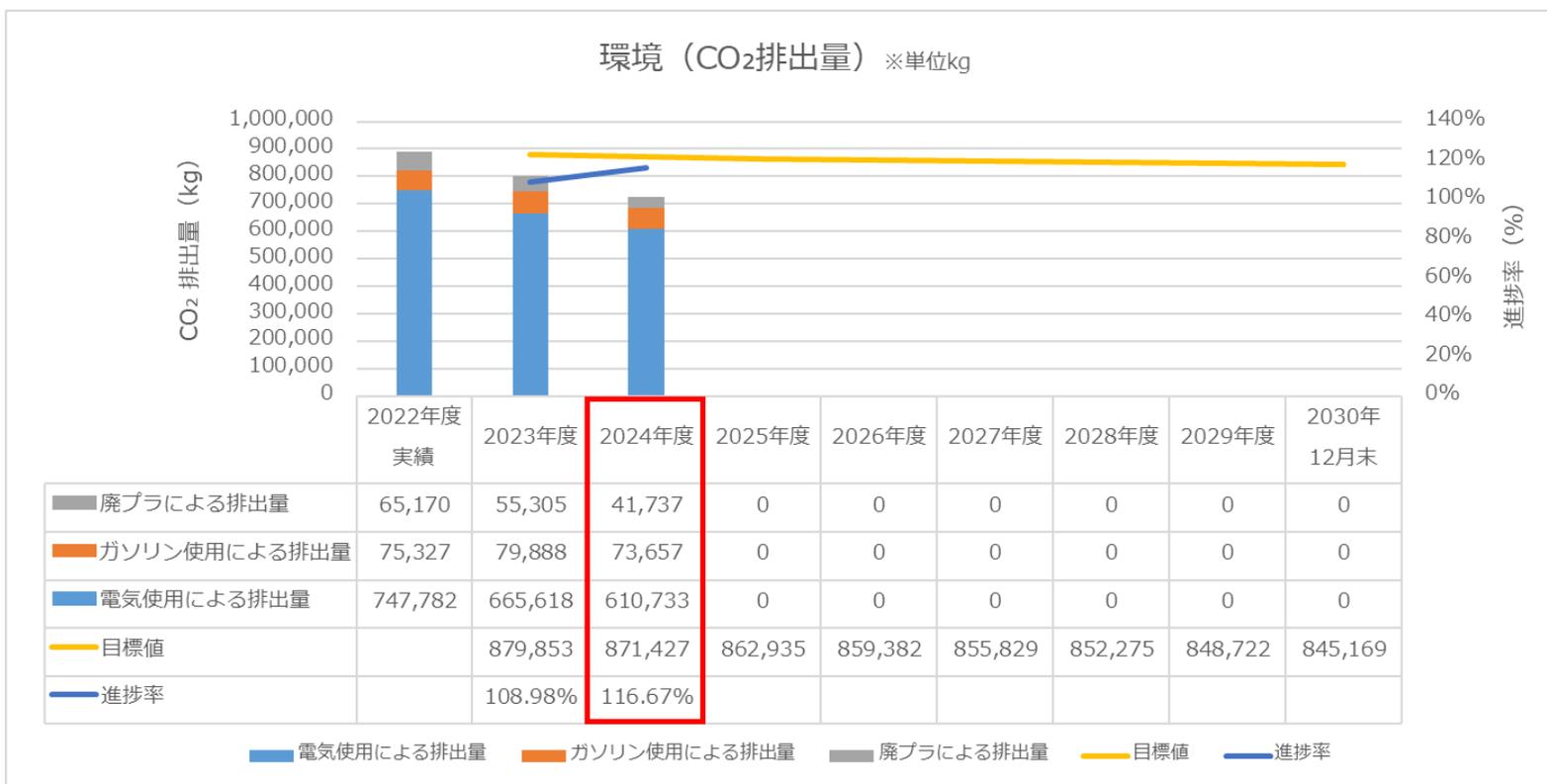
目標に対する進捗（環境）

CO₂削減

進捗率：116.67%（CO₂排出量：726,127kg / 2024年度目標：871,427kg）

※1-(実績-目標)÷目標

「考察」 2024年度の目標数値は達成。
しかし、企業の持続的な成長のためには生産活動は増えることとなります。（= CO₂排出量は増える）
業務スタイルの変化(営業車の使用率減小など)が効果に表れていると思われるが、個々の意識を高めることでさらなる削減を目指します。





目標に対する進捗（社会）

社会貢献活動参加

進捗率（参加数） : 144.12%（社会貢献活動参加数：49回／2024年度目標：34回）
 進捗率（累計参加人数） : 140.34%（社会貢献活動累計参加人数：1,082人／2024年度目標：771人）

「考察」 2024年度の目標数値は達成。
 参加数、累計参加人数共に目標を大きく上回っています。SDGs活動を意識した活動を目指します。

社会（参加回数）



	2022年度 実績	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年 12月末
参加回数/年	32	43	49	0	0	0	0	0	0
目標値		33	34	35	36	37	38	39	40
進捗率		130.30%	144.12%						

■ 参加回数/年 ■ 目標値 ■ 進捗率

社会（通算参加人数）



	2022年度 実績	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年 12月末
今年度	317	369	396						
～昨年度		317	686						
目標値		544	771	1000	1380	1760	2140	2520	2900
進捗率		126.10%	140.34%						

■ ～昨年度 ■ 今年度 ■ 目標値 ■ 進捗率



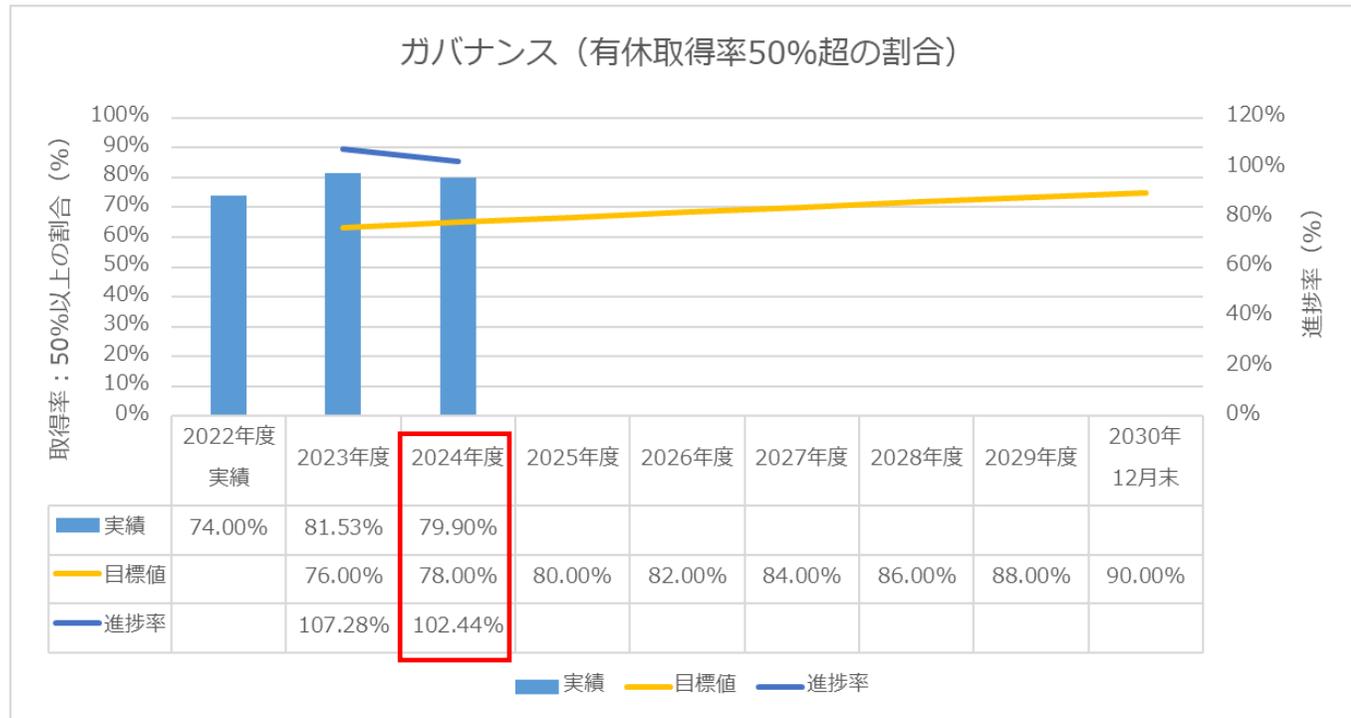
目標に対する進捗（ガバナンス）

有休取得率UP

進捗率：102.44%（有休取得率*：79.90%/2024年度目標：78%）

*単年度付与日数の半分（50%）以上を取得している社員の割合

《考察》 2024年度の目標数値は達成。
しかし、昨年度よりも4.84ポイント減少。調査データから取得率の良くない部門が見えているので、今年度はこの部門への改善の働きかけを行っていきたいと考えます。





2024年度SDGsオフィサーからのコメント

参加して良かったこと

- ◆ 普段関わる事がない人とも交流が出来た事。オフィサーになる前と後ではSDGsへの意識が変わり、他の企業がしているSDGs活動にも興味を持つようになった（本社）
- ◆ SDGs活動をして各拠点の人と交流ができて良かった（長野工場）
- ◆ 他部門の状況を知るきっかけになった。社員参加型の活動（有休キャッチフレーズ募集など）は、いろんなアイデアが集まり楽しめた（大阪）
- ◆ オフィサー担当でなければ、社内でのSDGs活動について知らなかったことが多かったことに気づき今後の活動にも協力していきたいです（埼玉工場）
- ◆ SDGsについて深く考えるようになった（大阪）

改善が必要と思ったこと

- ◆ チーム・テーマの細分化は1人当たりの負荷が増え、他のテーマに気が廻らなくなる(自分の受け持ちの活動でいっぱいになる)ので改善いただけた方がよいのかなと思います（名古屋）
- ◆ 個人での活動が強かったのもう少しグループで活動をしたかった（本社）
- ◆ Teamsのやり取りのみになりがちで、対面の打合せも時には必要と感ずることもあった（大阪）
- ◆ 休日に開催する活動。業務の一環であれば平日の活動が良いと思います（本社）
- ◆ 工場の担当者はパソコンを確認する時間が難しいことが多く大変なこともありました（埼玉工場）

まとめると…

【良かった点】

- ・ 他拠点メンバーと交流でき、参加型の活動に参加された方は、「楽しめた」という意見が多くありました。

【今後の課題】

- ・ 小チームでの参加型活動が「楽しめた」という意見があった反面、個人の負担が多かったという意見もあり、活動を継続するためには個人負担を軽減し、全体でフォローしあえる仕組みの構築が必要と考えます。



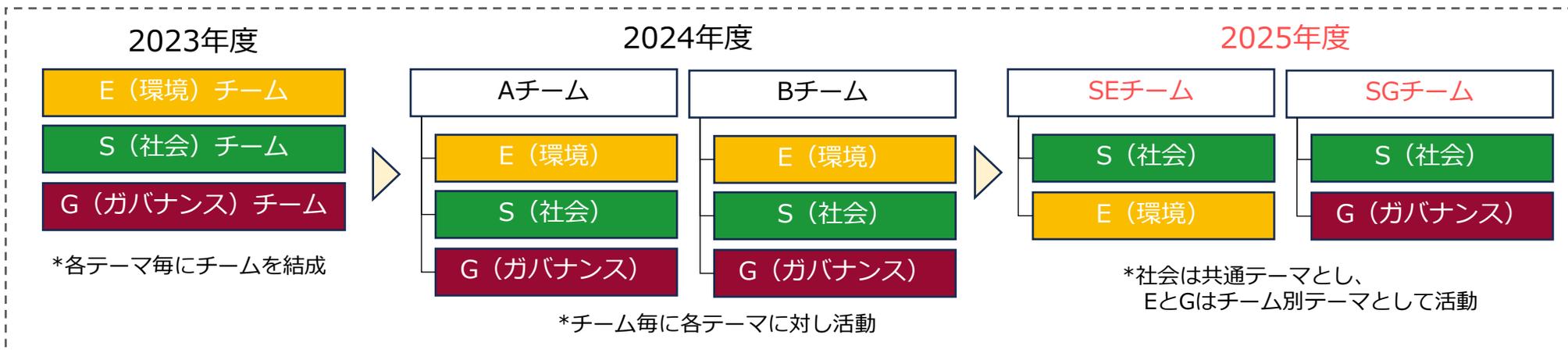


2025年度の活動について

サステナブル委員会（9名）と25年度SDGsオフィサー（11名）の合計20名を中心に全社で活動します。

今年度は、上記メンバーを「SEチーム」と「SGチーム」に分け、下記のテーマ別に活動します。

- SEチーム：社会+環境
- SGチーム：社会+ガバナンス



SDGsオフィサーが中心となり活動を行いますが、**目標達成のためには従業員の全員のご協力が必須**となりますので、SDGs活動に積極的にご参加頂けます様、宜しくお願い致します。



SDGsレポート_2025



E O F

